

韓国農林畜産食品部プレス【2019.10.11 18:14 付け】

**アフリカ豚コレラ (ASF) の拡散遮断、
漣川に特段の措置推進肥育豚買い上げ後残りの豚は予防的殺処分**

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbwWFmcmElMkY2OCUyRjMyMTYzOCUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRg%3D%3D>

以下、機械翻訳などによる仮訳

【本文】

農林畜産食品部(キム・ヒヨンス長官、以下「農食品部」)は、漣川郡所在の養豚農場でアフリカ豚コレラが追加発生したことを受け、特別な措置を推進することにしたと明らかにした。

アフリカ豚コレラが漣川から9月17日以降、2番目に発生し、最後の発生日から7日ぶりに再発生したことにより状況を嚴重に認識して専門家らの意見を収集した。

専門家らは発生初期であり地域的に京畿北部境界地域にのみ発生が集中することを考慮するとウイルスの拡散防止のために、漣川についても肥育豚に対してまず買い上げ、残りの豚全頭については殺処分措置が必要との意見を示した。

農食品部は専門家の意見を参考にし、現在の漣川の状況の評価を行った。

京畿北部の境界地域でアフリカ豚熱コレラが集中的に発生しており、国内流入及び農場間の伝播原因が不確実な発生初期状況である点を勘案すると、速やかに追加発生を遮断するためには、いつになく強力な防疫措置が不可欠だと判断して、漣川にも金浦・坡州と同じ方式で肥育豚をまず買い上げ、残りの豚に対して予防的殺処分を推進することにした。

農食品部は京畿道漣川郡と関連措置を速やかに推進する計画である。

(以上)